

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第24週～25週(6/9～6/22) 定点報告：第21～25週(5/19～6/22)

全数報告疾患情報

医

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第21週～第25週のグラフを別添しております

2類感染症	24～25週	累計（年）
結核	1	55

3類感染症	24～25週	累計（年）
腸チフス	1	2

5類感染症	24～25週	累計（年）
百日咳	9	51
後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む）	1	6

発生動向トピックス

TOPICS 1

腸チフスの発生がありました

医 全

2025年第22週に千葉県内医療機関から腸チフスの届出がありました。

腸チフスは、Salmonella enterica Typhiという細菌による全身性感染症で、通常のサルモネラ感染症とは異なります。この病気は南アジアや東南アジアで多く見られ、中南米やアフリカでも発生します。日本では散発的で、多くは流行地域からの輸入事例です。症状は、7～14日（場合によっては3～60日）の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、全身倦怠感、比較的徐脈、バラ疹、脾腫などが現れます。

チフス菌は、人間にのみ感染する細菌で、他のサルモネラ属菌に比べて少量の菌で発病することがあります。感染は、主にヒトの糞便や尿で汚染された食物や水を介して広がります。

感染対策のポイント

生水や氷、生野菜、カットフルーツ等に注意!



十分に加熱された飲食物を食べる



こまめな手洗い



腸チフス	症状	7-14日	第1病期	第2病期	第3病期	第4病期
		潜伏期間	体温上昇 腸チフス 3徴候が 出現	40℃台の熱、 下痢、便秘、 意識障害	徐々に 解熱	解熱、 回復
	感染経路	経口感染 感染したヒトの排泄物に汚染された水、氷、食べ物を摂取することで感染する（ごく少量で感染することも）				
	予防方法	食べ物に注意（十分加熱、水は沸騰 など） 手洗いを徹底する（食事の前には手洗いをする など）				
	ある地域のリスク	南アジア、東南アジア、アフリカ、カリブ海、中央・南アメリカ				

【参考】JHS「腸チフス・パラチフス」

<https://id-info.jhs.go.jp/diseases/ta/typhi/010/typhi-intro.html>

【参考】厚労省「腸チフス」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-03-04.html>

TOPICS 2

夏は蚊が媒介する感染症に注意しましょう

医 全

蚊が媒介する感染症を予防するためには、蚊に刺されないようにすることが重要です。屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、**長袖と長ズボンの服を着用して素肌を露出させない**、**虫よけスプレーや蚊取り線香、殺虫剤を使用する**などの対策がります。また、夕方はもちろん昼夜も、そして家の中でも注意する必要があります。なお、蚊が媒介する感染症のうち、日本脳炎は予防接種（定期接種）、黄熱は予防接種（任意接種）、マラリアには医師の処方による予防内服が有効です。感染する危険のある地域に入国する前にこれらを検討しましょう。

感染症名 	潜伏期間	主な症状	主な流行地域
デング熱	2日から14日 （平均3日から7日）	発熱、食欲低下、頭痛、 筋肉痛、筋力低下	東南アジア、南アジア、 中南米、カリブ海諸国
ジカウイルス感染症	2日から12日 （多くは2日から7日）	発熱、頭痛、筋肉痛、関 節痛	中南米・カリブ海地域、 オセアニア大西洋諸国、 アフリカの一部、タイ
チクングニア熱	3日から12日 （多くは4日から7日）	発熱、関節痛、発疹	アフリカ、南アジア、東 南アジア
ウエストナイル熱	2から6日	発熱、頭痛、筋肉痛、関 節痛、結膜炎、疲労感、 倦怠感	アフリカ、ヨーロッパ、 中東、中央アジア、西ア ジア、南米
黄熱	3日から6日	発熱、頭痛、悪寒、筋肉 痛、悪心、嘔吐	アフリカ、中南米
日本脳炎	6日から16日	発熱、頭痛、吐き気、嘔 吐、めまい、意識障害	日本、中国、東南アジア、 南アジア
マラリア	7日から40日	発熱、悪寒、倦怠感、頭 痛、筋肉痛、関節痛	東南アジア、アフリカ、 中南米

また、蚊を増やさない対策も重要です。蚊は水の溜まっているところに卵を産みます。不要な水たまりはなくしましょう。植木鉢の皿、発泡スチロールの箱、放置されている空き缶、古タイヤなど、いらぬものは撤去しましょう。さらに、まめに草刈りをするなど、蚊が潜む場所を減らしましょう。

感染してからの治療よりも、蚊に刺されないための対策が重要です。

【参考】東京都感染症情報センター「蚊媒介感染症」
<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/mosquito/>
【参考】厚労省「蚊媒介感染症」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

幼虫対策



植木鉢やバケツ等
にたまる水を除去

成虫対策



草刈り

麻 し ん

医 全

千葉県では、2025年第25週に2例の届出がありました（2025年6月25日現在）。2025年の累計は10例となりました。全国では、2025年第24週に神奈川県で6例の届出があり、2025年の累計は142例となっています。

No.	保健所	性別	年齢	病型	発症日	診断日	診断週	接種歴				遺伝子型	備考
								1回目	(年齢)	2回目	(年齢)		
1	市川	男	40代	麻しん(検査診断例)	2月26日	3月7日	10週	不明		不明		B3	渡航・滞在先(ベトナム)
2	柏市	男	20代	修飾麻しん(検査診断例)	3月14日	3月14日	11週	有	1	有	6	B3	No.1の接触者
3	松戸	男	20代	麻しん(検査診断例)	3月22日	3月28日	13週	無		無		B3	
4	柏市	女	10代	麻しん(検査診断例)	4月3日	4月5日	14週	有		有		不明	
5	松戸	男	30代	麻しん(検査診断例)	4月25日	4月28日	18週	不明		不明		B3	渡航・滞在先(ベトナム)
6	印旛	男	10歳未満	麻しん(検査診断例)	4月21日	5月2日	18週	不明		不明		B3	渡航・滞在先(モンゴル)
7	印旛	男	20代	麻しん(検査診断例)	5月13日	5月15日	20週	不明		不明		B3	
8	印旛	男	20代	麻しん(検査診断例)	5月23日	5月23日	21週	無		無		B3	
9	君津	男	40代	麻しん(検査診断例)	6月9日	6月19日	25週	無		無		B3	
10	柏市	男	40代	修飾麻しん(検査診断例)	6月11日	6月20日	25週	有	2	無		検査中	

県内や近隣地域において依然として麻しんの発生が続いております。麻しんの予防には予防接種が最も有効です。また、海外からの帰国後に麻しんと診断される方が増えています。海外旅行等で流行地へ渡航される場合は、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認していただき、必要な検査や事前に予防接種を受けていただくことをご検討ください。また、帰国後2週間程度は、健康状態（特に高熱や全身の発疹、咳、目の充血等の症状）に注意しましょう。

【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202525measles.pdf>
【参考】千葉県「麻しん（はしか）患者の発生について」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/measle0621.html>
【参考】柏市「麻しん（はしか）患者の発生」
<https://www.city.kashiwa.lg.jp/hokenyobo/kansenyobo/mashin3.html>

—— 定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	1	2	0	0	0

※型非鑑別キット

第25週の千葉県全体の定点当たり報告数は、0.23(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、0.11(人)でした(図2)。

第25週に千葉県内で報告のあった例のうち、A型17例(48.6%)、B型11例(31.4%)であり、A型が多い状況です。

感染
対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

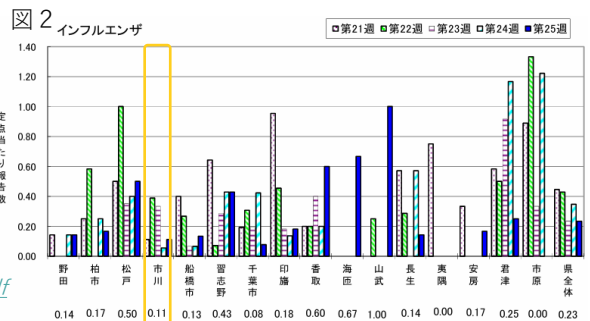
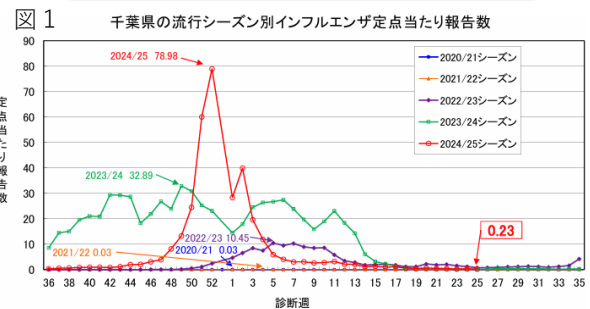
【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202525influenza.pdf>

【参考】厚生労働省：インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2024.html

2025年第24週から第25週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です



新型コロナウイルス感染症

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第25週の千葉県全体の定点当たり報告数は、1.23(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、香取(2.60)、君津(2.00)、柏市/山武/夷隅(1.50)保健所管内でした。

市川保健所管内の報告数は、前週から増加し、1.33(人)となっています(図2)。

【参考】千葉県感染症情報センター

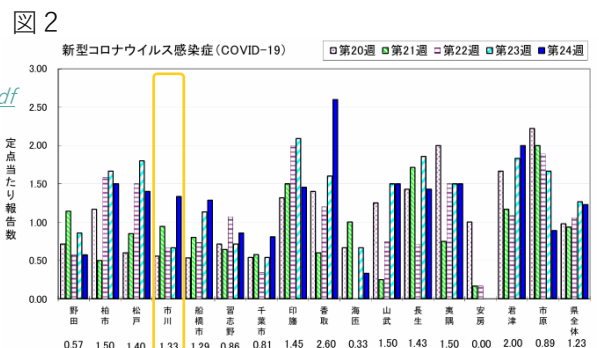
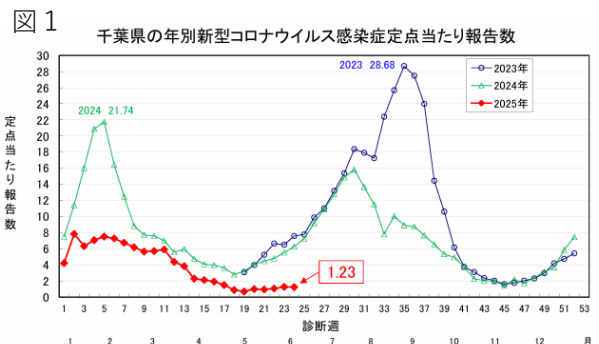
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202525covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

感染
対策

インフルエンザを予防する方法と同様です



- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。
※閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターにご連絡をお願いいたします。
- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配信元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

市川保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 — 警報基準値 ---- 解除基準値
 マイコプラズマ肺炎は基幹定点のみ COVID-19、急性呼吸器感染症（ARI）、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎は警報基準値等の設定なし。

